



横浜商科大学

YOKOHAMA
COLLEGE OF
COMMERCE



卒業生 × 在学生 × 学部長

小田急箱根ホールディングス
箱根登山バス勤務

松井 一寿さん

商大と地元愛から、すべてが始まった。



1 左から松井さん、伊藤学部長、在学生の森山さん。 2 勤務中の松井さん。箱根登山バスの前にて。 3 営業所にて運行管理業務を行う松井さん。 4 帰ってきた商大にて。

貿易・観光学科卒業

松井さんが箱根登山バスに勤務することになった理由

伊藤 松井さん、こんにちは。久しぶりに母校である商大に帰ってきて、どうですか？

松井 全然変わっていないので、どこを見ても懐かしい気持ちです。といっても、私が卒業したのは2年前なのでそれほど時間もたっていないのですが。

伊藤 そうだね。商大はこれからもっと校舎も変えていこうと思っているから、たまに見に来てほしいですね。

森山 松井さんは現在小田急箱根ホールディングスに勤務されているということなのですが、具体的にはどんな仕事をなさっているんですか？

松井 よく勤務している会社名を伝えると、車掌さんを思い浮かべる方が多いみたいなのですが、私の仕事は運行管理業務といって、営業所に常駐しながらバスの運行管理を行う業務なんですよ。

伊藤 確かに私も車掌さんを

思い浮かべてしまった。営業所でもお客様とのコミュニケーションがあるんじゃない？

松井 はい、むしろお客様対応は顧客満足をあげていくための重要な仕事の一つです。いろいろなお客様がいらっしゃいますから、忍耐強く対応しなければならず、少々苦勞する時もありますが、お客様に喜んでもらえると、とても嬉しくなります。私の勤めている営業所は、上司やチーム

内の協力体制が整っているもので、助け合いながら日々頑張っています。

伊藤 それは良い環境に巡り合えたね。

森山 ところで、小田急箱根ホールディングスに入社したいきさつをお伺いできますか？箱根と聞いて思い浮かべるのは、温泉・エヴァンゲリオン・箱根登山鉄道・・・そんなところですが、鉄道マニアだったとか？

松井 やっぱりそう思いますよね？ところが別に鉄道が好きでこの仕事を選んだわけではないんです。もともと私は湯河原育ちで、地元愛がとても強いのですが、横浜商科大学に入学した後のあるサークルが一つのきっかけになったと思います。

伊藤 ゼミじゃなくて、サークル？

松井 はい。教授の中村純子先生が中心となって活動して

いる、「チーム箱根」ってご存知ないですか？

伊藤 あ、なるほど。
松井 最初はただの地元好きだったのですが、このサークルで活動するうちに、この世界に誇る観光地である箱根・湯河原の魅力に改めて気が付いて、もっと研究したくなったのがきっかけですね。

森山 大学で一生懸命に活動していたことが仕事になるって、すごく素敵な話ですね。

松井さんの進路に影響を与えた

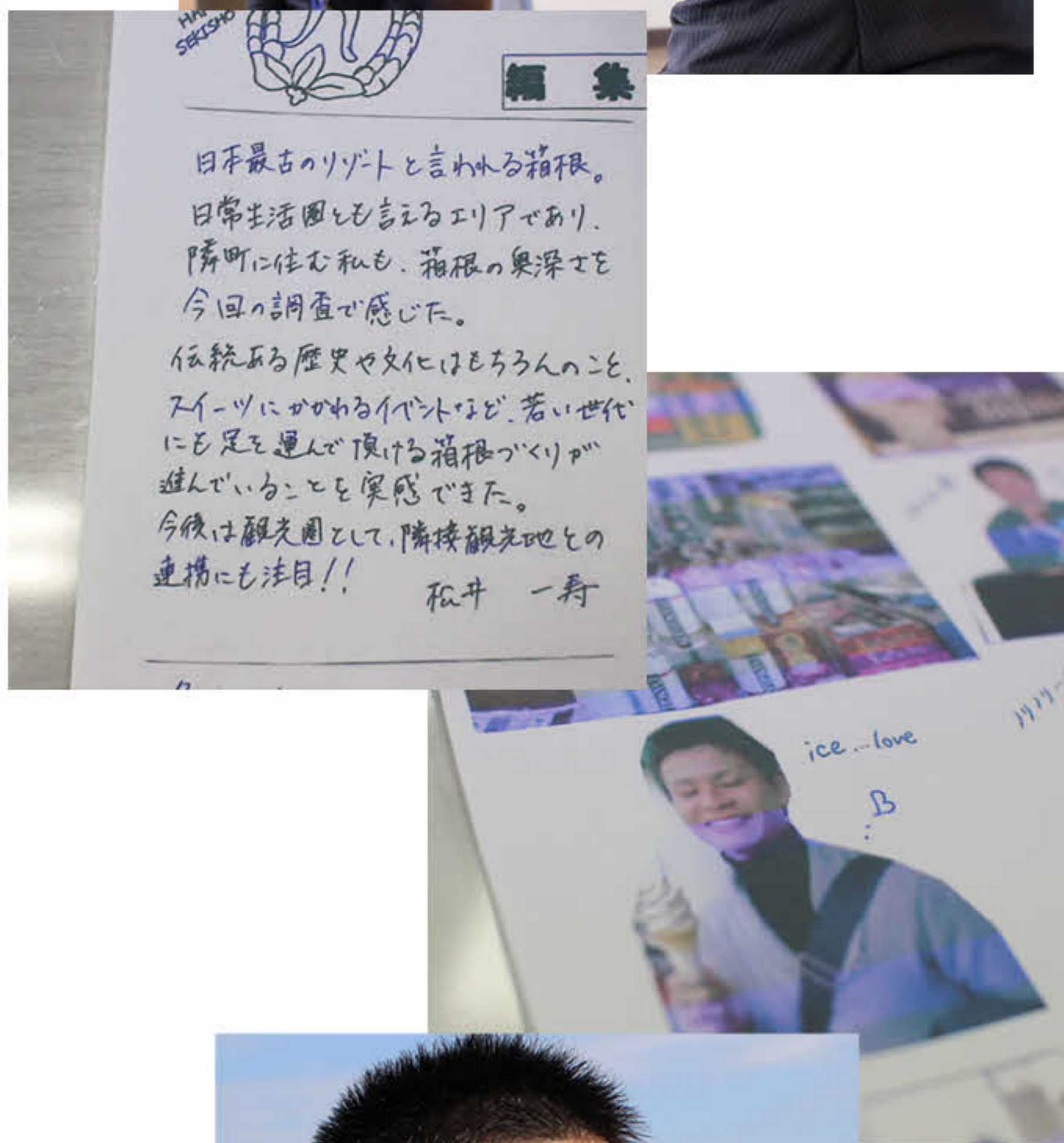
チーム箱根との出会い

チーム箱根とは、サブカルチャーと観光をこよなく愛する集団で構成されるサークル。松井さんは、中村純子先生を中心としたメンバーのリーダーとして、エヴァンゲリオン「聖地巡礼」、「ゆるキャラ」、ご当地グルメ、キャラクターグッズなどの調査を行っていました。

森山 先ほどお話をされていた「チーム箱根」について詳しく教えてくださいませんか？
松井 チーム箱根は、サブカル・ツーリズム研究のサークルの一部で、当時中村純子先生が中心に活動をしていました。
伊藤 今もやっているのと同じです。サークル活動が就職につながるって、とっても素晴らしいことですね。
松井 中村先生のゼミ生で連絡を取ってくれたり、心配をしてもらったりします。なによりもあのみなぎるパワー、本当に頭が上がりません。
森山 すごくいいですね。
松井 そうですね。教員方と学生の距離感が近いというのは、商大のすごく大きなアドバンテージだと思います。だからこそ、4年間にたくさん良い出会いがありました。その中でもチーム箱根に対する想いは特別なものがあります。

森山 今日持ってきてくれた「チーム箱根オリジナルガイドブック」はその時に作ったものですね？
松井 そうなんです。
森山 すごくクオリティが高いですね。特に時々登場するご当地スイーツの説明が丁寧で、参考になりますね。
伊藤 松井さんのおすすめスポットはありますか？
松井 日帰り温泉の「箱根天山」はお勧めです。もともと温泉好きなのですが、そのお湯は近くに行くだけで「あ、温泉があるな」とわかるくらいのお湯だと思います。是非行ってみてください。
森山 私は抹茶スイーツが好きなので、和風のスイーツの情報があったら遊びにいきたいなあ。
松井 箱根・湯河原には和風スイーツがたくさんありますよ！
伊藤 こういったサークル活動が増えくると、学生生活も充実してきますよね。それでサークル活動と就職はどうつながるの？
松井 商大に入学した時から地元である箱根・湯河原の街づくりに関わりたくて思っていました。このサークルで、いろんなところに行くこと、自分の目でみることで、行った先々で比較することが、観光資源を研究するには重要だと感じ、そういうことができると感じました。





大学と仕事で出会った人々からもらった感動

毎日の出会いが、素晴らしい。

横浜商科大学で過ごした4年間

森山 横浜商科大学で過ごした日々を振り返ってみると、どんな日々でしたか？

松井 充実の一言では表せない4年間だったと思います。学生時代の活動を通じて、日常を何気なく過ごしていた箱根・湯河原に、これだけの人が来るんだということに気づき、また世界にその良さを発信していく活動の基礎を身に着けることができました。

伊藤 地元の日常も知っていて、かつ研究者として見に行くという目も持っている、これは松井さんが箱根・湯河原の街づくりに携わっていく上で、ものすごい強みだね。将来箱根の町長さんになったらして。

松井 期待して待っていてください。（笑）

お客様からもらった感動

森山 仕事上での感動エピソードはありますか？

松井 実は、私の仕事は人目につかない仕事が多く、どちらかというと裏方なんです。それでも、バスの運行管理では、自分が司令塔の役割であるという責任感をもって仕事にあたった結果、一日事故なく、トラブルなく、運転手が帰ってきしてくれた時にはいつもホッとしますし、やりがいを感じます。雪の日の業務の後は、特にそうです。

伊藤 お客様とのやり取りはどうですか？

松井 箱根フリーパスというものを発行しているんですが、お買い求めになるお客様の中には、どういうルートで箱根を回ろうか、ノーアイデアの方も多いです。そんな時には、

箱根を回るプランを代わりにご案内して差し上げることがあります。モデルプランと一緒につくって、夕方戻ってきたお客様が「一日いい旅ができたよ。また次来た時には別のコースをつくってね。」という一言をかけてくださった時には、感動してしまいましたね。

商大学生へのメッセージ

森山 最後に、商大の学生へ一言お願いします。

松井 皆さん、いろいろな夢をもって商大に入ってきていると思います。私にとって今の充実した仕事と生活の原点は、この商大です。授業はもちろんです、授業以外の時間もたっぷりあります。この4年間でたっぷり自分を育てて、立派な後輩になってください。

伊藤 松井さん、ありがとうございました。

松井さん・森山さんのご紹介

卒業生 松井一寿（まついかずとし）さん
貿易・観光学科 平成23年3月卒業
スイーツ、観光、温泉が趣味

在学生 森山菜奈（もりやまかな）さん
経営情報学科 1年
趣味は読書(文庫本のみ)、音楽鑑賞、パソコン(Amazon観賞、動画観賞)、パズルゲーム。

本記事に関するお問い合わせは、横浜商科大学 情報室までご連絡ください。